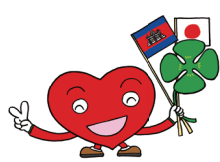


Srolanh NEWS

カンボジアの障がいのある子どもたちの「生きる」を支援する。



発行：NPO 法人スロラニプロジェクト
〒655-0049
神戸市垂水区狩口台 4 丁目 31-505
TEL：090-9982-4032
E-mail：srolanhproject@gmail.com
発行日：2024 年 1 月 10 日



チヨムリアップスオ！～飯塚代表ごあいさつ～

新年あけましておめでとうございます。

1月1日には、能登半島地震によりたくさんの方が被災され、現在も辛い生活を余儀なくされています。当団体も現地での直接支援はできませんが、早々に支援金を現地活動されている特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンにさせていただきました。約30年前には阪神淡路大震災を神戸の入所施設で宿直中に被災しました。その時の怖さ・その後の復興までの経緯を思い起こし今回被災された皆様の辛さは計り知れません。少しでも改善に向かうことを心よりお祈りいたします。

当スロラニも、昨年は3年ぶりにカンボジア王国シェムリアップ州に行くことが出来ました。一昨年10月から、日本から強力な助っ人近藤さんが、現地で積極的に活動を継続しています。又、ピッチさんとのコンビネーションも最高で長年支援を継続していた「村の障害児支援」「州立シェムリアップ孤児院センター支援」「スロラニ小学校継続支援」等々、近藤さんのお人柄と専門性、そして迅速かつ誠意ある対応により、昨年現地を訪れた時の皆さんの感謝の言葉からも支援の充実を実感いたしました。

昨年10月の活動は、服部、石倉、浅原、そして飯塚の4名だけでした。3年ぶりに各支援者のもとにご挨拶をすることが第一の目的であり、また、今後の活動の方向性を探ることも目的の一つでした。上記以外のワットポー小学校や師範学校へもご挨拶と今後のことを打ち合わせさせていただきました。皆さん、以前の歯科支援や救急救命支援も「ぜひお願いしたい」とのことでした。

今回は、名古屋の日本福祉協議機構の職員の皆さんが、研修の一環で我々に同行し強力な手助けを頂きました。久しぶりの現地活動から手ごたえがかなりありましたので、今後スロラニとして、現地の方たちの期待に応えるべく頑張っていきたいと思えます。正直に申しまして、その為には資金が必要です。皆様にも改めて、ご支援をお願いいたします。



孤児院センターでの障害児デイサービス集合写真

カンボジアで障害のある子どもたちに必要な療育を！～モンテッソーリアン浅原からの報告～



ワットポー小学校の先生に障害のある学生への関わり方を教える浅原(中央)

カンボジアに、10月、3年ぶりに訪問できました。3年ぶりのカンボジアは変わっていたところもあり、今までの活動ができるかどうか心配をしていましたが、訪問するところすべての方に継続してほしいと依頼を受けました。私は主に障害児教育を担当させていただいています。今回は師範学校スロラニ小学校と幼稚園（スロラニプロジェクトを立ち上げた方々が作った村の学校）、ワットポー小学校（6000人が通う都会の小学校）、孤児院障害のある子どもが暮らす村などを訪問しました。

師範学校では、将来、村に戻って教員になる学生さんたちに障害についての講義をしてほしいと依頼を受けました。以前にも講義をさせていただいたのですが、カンボジアは、まだまだ障害についての理解が難しいので車いすを使っている方のように見てわかる方以外にも、その人を生きにくくしているものがあることを知らせたり、発達障害についての理解を促すお話をさせていただいたりしながら、学生さんたちの質問にお答えしていこうと思っています。スロラニ幼稚園では、ソワサポートでもやっているモンテッソーリ教育を基本とした「おしごと」をしました。カンボジアの子どもたちがとっても喜んで活動してくれるのを見て、ほんとうに嬉しかったです。子どもの姿はどこ国でも同じように私たちを感動させてくれます。また、先生が「これ（教材）は持って帰りますか？」と尋ねてくださって



スロラニ幼稚園の園児に「おしごと」を提供する浅原

「こんなものがカンボジアにはないから」と先生自身でこれからもやっていきたいと言ってくださったことには感謝しかありませんでした。今回はちゃんと整えてお渡しできなかったのが、今回はカンボジアで使いやすいようにして教材をお渡しする予定です。

カンボジアで活動していると、国や地域によって「障害」になるものが違うんだらうということに気づかれます。計算が苦手でも、動き回ることが得意なほうがお仕事できたり、いろいろなんだらうと思います。これからも、そんなことを踏まえながら、カンボジアで必要な療育を考えて提供していければと思います。環境が変われば子どもの成長発達の方向も変わります。日本でも一人ひとりの子どもたちの得意なことを大切にしながら、子どもたちとお付き合いさせていただきたいと思えます。

スロラニプロジェクト10月現地活動報告～たくさんの方々に支えられて～



孤児院の子ども達に空手を教える日本福祉協議機構の柴田部長



スロラニ小学校で特別授業の様子(日本福祉協議機構)

今回、障害児デイサービスやスロラニ小学校での運動会、そして特別授業など、3年前に行っていた取り組みを再開するという大きなミッションがある中、スロラニプロジェクトのメンバーも、この3年間で各々の環境が変わり、飯塚、浅原、石倉、服部の4名だけの渡航となりました。

また、一番頼りにしていた現地スタッフの近藤さんが諸事情で10月の現地活動は不在というアクシデントがあり、ミッションを達成できるのか不安でいっぱいでしたが、大変有難いことに、総勢14名の日本福祉協議機構の皆さんが、我々とともに現地活動に参加していただきました。

そして、高齢化がすすむスロラニプロジェクトのメンバーに変わり、すべてのミッションの企画から進行に至るまで、若い日本福祉協議機構のスタッフの皆さんにご協力いただき、約3年ぶりとなる現地での活動は、カンボジア人の方々に喜んでいただき、無事に取り組むことができました。その裏には、近藤さんがしっかりと現地で各関係機関や障害のある子どもを育てるご家族との深い信頼関係を築いてくれたことや、近藤さんを支えるカンボジア人ピッチさんが獅子奮迅の活躍で助けてくれたことが、久々の活動をスムーズに行えた要因でもありました。

今回も私たちと出会わなければ、カンボジアで障害のある子どもに接することはなかったであろう、日本語ガイドのブンさんやトンさん、ドライバーのソックさん、ムンさんなどが嫌な顔を一切見せずに我々の活動を見守り、時には率先して助けてくれる姿勢にカンボジアの温かさを感じ、幸せな気持ちになれました。

スロラニプロジェクトは3年前以上にパワーアップして活動を再開しました。現地活動報告会や活動PR等も積極的に取り組んでまいります。(服部)



障害のある子どもの保護者の相談支援の通訳をするブンさん



今回、獅子奮迅の活躍で協力してくれたピッチさん(右)



明石のイベントで活動PRを行いました

支援活動へのご協力をお願い

【郵便振替】 加盟者名：特定非営利活動法人スロラニプロジェクト
口座記号番号：00980-1-172480

【銀行振込】

みなと銀行 支店：明舞支店(普)
口座名：特定非営利活動法人スロラニプロジェクト理事長飯塚由美子
口座番号：3895462
※恐れ入りますが、手数料についてはご負担お願いいたします。